[ 第一回 ]

**ナレーションA -- 杨雅逸**

**光秀 -- 张昀能**

**信長 -- 廖昀昊**

**蘭丸 -- 马乐**

**足軽１ -- 张昀能**

**足軽２ -- 陈霖杰**

**ナレーションA：**今日、わたくしたちはみんなに一つ物语**（こじ）**をあげる、一人英雄ついての物语、彼死ぬ時の物语。

**ナレーションA：**昔々から、本能寺のそとに**（很久以前，本能寺）**

**光秀：**敵はまえにあり。全軍進め！今日こそ、敵リーダの命を取る！

**（光秀站在讲台上）**

**ナレーションA：**本能寺のなかに

**信長：**そとが何が発生しましたか。

**蘭丸：**信長様、わたくしがいま確認してきます。

**（蘭丸向讲台上移动）**

**蘭丸：**あ。桔梗の家紋。あれは明智様の軍勢です。

**（蘭丸急匆匆从讲台下来回到信長身边正要说话，足軽１从教室门口急匆匆进入）**

**足軽１：**て。伝令明智丹波守光秀が謀反した。今本能寺が包囲されました。

**信長：**光秀か。きっと失敗されます。

**（足軽２从门口急匆匆进入）**

**足軽２：**て。伝令火、火が起きました。

**蘭丸：**豊臣秀吉様がこの本能寺の中に秘密通路を準備しといた。信長様、ご撤退ください。私が案内する。

**（两个人向舞台的某个地点（非讲台）跑去）**

**蘭丸：**くそう、秘密通路は閉鎖されました。これはまじ窮地に追い込められた。信長様、今ならどうするべきか？

**[ 第二回 ]**

**ナレーションA -- 杨雅逸**

**ナレーションB -- 陈霖杰**

**信長 -- 廖昀昊**

**扔箭者**

**ナレーションA：**突然に、一本すごく早い弓矢**（ゆみや）**が空を引き裂いて、深々**（ふかぶか）**に信長の胸に刺してしまう。

**（旁白说话的时候信長左肩部向后冲击一下，如同被箭矢射中，同时右手捂住左胸做痛苦喘息状，下蹲，蘭丸单膝下蹲膜信長）**

**信長：**うあああ、心臓が。。。ん野郎が、ほかに残っている仕様が無いのか。はしの覇道がここまでなんだか。

**ナレーションA：**だんだん、信長の視線**（しせん）**が模糊**（もこ）**になってしまった、血が傷から噴射**（ふんしゃ）**してきた、絶望と悔しさが彼の心に混んでいた、これで、歴史にある一人英雄**（えいゆう）**が倒されてしまいました。

**（信長极力配合旁白的描述，渐渐向前扑倒，双手撑地屈身）**

**信長：**ああ、俺がこうやって倒されたんだか？悔しい、悔しいなあ！

**ナレーションA：**須臾**（しゅゆ）**の中、信長が少し異変**（いへん）**を感じた。

**（旁白说话的时候信長突然醒悟一般发出一声，同时开始左右顾）**

**信長：**これは、何の音？あ、そこに微光か。もしかしたら、天国の入り口なんですか、ああ、これで、残念も残っていないよね。。。

**ナレーションB：**あんな微光**（びこう）**が少しずつおおきくなりました、形がだんだんに見えた。

**信長：**なるほど、天国入り口の姿が一つ桃なのか。なあ？桃？なんということだ！あ、だめだ、入られてしまう！いやだ、また死にたくない、助けろ、いやあああああああ！！！

**[ 第三回 ]**

**ナレーションB -- 陈霖杰**

**おばあさん -- 樊小楚**

**おじいさん -- 马乐**

**桃太郎 -- 廖昀昊**

**ある人 -- 戴小姐**

**ナレーションB：**昔々、あるところに、おじいさんとおばあさんがいました。ある日、おじいさんは山へ柴刈りが、おばあさんは川へ洗濯に出かけました。突然、川の上の方から、大きな桃が流れて来ました。おばあさんはその桃を発見して、よくびっくりしました。

**おばあさん：**あっ、なんておおきなもも！一体どこから流れてきた、食べられるかな、おじいさんと相談して見よう。

**ナレーションB：**おばあさんはとても大きい力で、すごい時間を掛かって、やっとこのモモを上げて接岸してきました。おばあさんは大きいモモをぼうっとみて、そしてたらいの上で置いて、一生懸命努力したのは家に帰ることを歩きました。

**ナレーションB：**たそがれの時、おじいさんが山の中から帰って来て、たくさんの薪を背負って、喜び勇む**（よろこびさむ）**言うことが。

**おじいさん：**ただいま!うわ、それはなんだ!おおきいももなんですか?

**おばあさん：**おかえりなさい。あっ、大きな桃だよ、川の上から流れてきました、初めて発見した時、よく怖かったんだね。でも、すこし観察しておいて、ただ普通の大きい桃なんと想いにした、ところで、美味しそうね、一緒にたべてみようか。

**ナレーションB：**おばあさんは包丁**（ほうちょう）**を取り出して、モモを切ることを始めました。でもおばあさんはモモを切開**（せっかい）**するその時、“わーー!”の泣き声が耳に入りました。モモの中間は1つの健康のかわいい赤ん坊が飛び出してきた、大声の泣くこと。

**おばあさん：**かわいいおとこのこね、え！ちょっと待て！なんということ！ももの中にが人類がいたということか！信じられない、一体どうやって生まれたの？おじいさん、よくみてよ！

**おじいさん：**確かに不思議のことなんだよね、山に住んでるの時間で、こういうことみたことがなかったんだ。これは、もしかしたら、もも神なんですか？

**おばあさん：**まあ、どうして考えるのも答えを出せない、これは生き物でしょう？じゃ名前がなっかたら、かれんなことになったんでしょう！なんのなまえにしましょうか?

**おじいさん：**ももからうまれたなら、ももたろうにしよう。

**ナレーションB：**おじいさんもおばあさんもよくびっくりしました。二人は、桃太郎を自分の息子と見る。桃太郎は頭脳がよくで活力もあります。おばあさんがいつも桃太郎に団子を作ります。

**おばあさん：**桃太郎、たくさん食べて、そしてはやく大きくなりなさい。

**ナレーションB：**二人は、桃太郎を大事に育ってました。桃太郎はすぐ大きになりました。優しい青年になりました。そして大変の力を持ちました、例えば、桃太郎が空手で牛を殺すことがだんだんできるのになった。

**ナレーションB：**ある夜の中、ある人が来た。桃太郎はまだ寝ていますが。

**ある人：**桃太郎、桃太郎、起きなさい。

**桃太郎：**お前、何者だ！

**ある人：**私は...いや、今はまだ言えません！でも、私は君に助けてあげる人です。君は運命に選ばれた人です！いまから、君に奥義を教えてあげます。

**桃太郎：**いいえ、いいえ、いいえ、それはめっちゃ変でしょう？あなたは一体誰なんだ？どうして僕のことが知ってる、ひょっとしたら、あなたは何が説明してくれられる、僕がずっと変な音が聞こえるのことについて？

**ナレーションB：**そう、桃太郎自分の言う通りだ、桃太郎は生まれた時からずっと変な音が聞こえる、それは人が一人二人がしゃべっている様な声だった。

**ナレーションB：**桃太郎は迷うのを持ちながら、あの変な「あるひと」と武芸**（ぶげい）**を習った、自分の体が自分の次第で動けずのような、コントロールされてるような、武芸をならった、その結果として、桃太郎はもっと強くなりました。

**[ 第四回 ]**

**ナレーションB -- 陈霖杰**

**村人 -- 张昀能**

**桃太郎 -- 廖昀昊**

**ナレーションB：**そのあと、ある日、港口から一人おじいさんが家に世間話をきてた。

**村人：**一か月の中に，対岸の島で，妖怪が来た，その妖怪は私たちをいじめるのが好きだった。私たちの家は破壊された，私たちの物は奪われた、みんなもあの妖怪のことを恨みをしてるが、怖っている。だから、頼んぶよ、桃太郎、助けてくれるよ！

**桃太郎：**状況**（じょうきょう）**は分かった、だが私がただ一人なんだ、武芸しかない、それは俺にとって危なすぎて、やはりあなたたちは本地軍隊**（ほんじぐんたい）**にお願いするよ！

**ナレーションB：**でも、桃太郎が村人**（むらびと）**の可憐な目を注目する時、「きっと、助けてあげる」の気持ちはもう心に決めていました。

**桃太郎：**あれ、また、変な声が、え、さっき、俺が、村人を助けたいのか、たすけないのか。記憶が模糊にして始まった。どうしてそんな助けたいのか、この気持ちは本堂に僕自身の意志のかな？

**村人：**も一度考えてほしいな、あなたしかできないよ、本地軍隊もそうさ。

**桃太郎：**じゃあ、僕がその島へ行って、妖怪を退治しましょう。

**村人：**よかった、ありがとう、ありがとう、桃太郎様！！！

**（村人欣喜至极，伴随着激动的眼泪）**

**桃太郎：**俺は一体。。。。。助けてあげたくなかったのに！

**おじいさん：**桃太郎、おじいさんが君の年と合わない勇気を喜んでいるだが、心配してるよ。あんな妖怪が悪いことをするばっかり、そして太郎ちゃんはただ一人男の子だよ。

**おばあさん：**おばあさんが黍団子を作ったわ。いい子だ、これをもって行って、君の力にいい、早く妖怪を倒すのに支援するとして。

**桃太郎：**安心するよ、私が気を付けてるから。

**ナレーションB：**桃太郎は黍団子を手に入れました。村人と別れといた、鬼ヶ島へ出発しました。その途中で。

**[ 第五回 ]**

**ナレーションB -- 陈霖杰**

**桃太郎 -- 廖昀昊**

**玉藻前 -- 樊小楚**

**大和 -- 马乐**

**桃太郎：**何か変だ、いつも誰が俺のことを注目する気が感じする、それに、人の声の様な音が聞こえる。じいさんとばあさんと生活してる時、こういう感じがこんな顕著**（けんちょ）**ではなかった、一人いる頃に、声と注目される感がはっきりされてるね、やはり錯覚**（さっかく）**ではない。俺のことに何が発生してる！ずっと。。。

**玉藻前：**あぁ…お腹が減った〜…

**（玉藻前从教室门口步履蹒跚走入，捂着肚子）**

**ナレーションB：**桃太郎が自分のことを考える時、正面**（しょうめん）**から一人人間様な生き物が歩きました。

**玉藻前：**おい、あの人類、少し食べ物をくれない？

**桃太郎：**ああ、俺がそんなことはもう忍耐**（にんたい）**できない、一体誰が喋っているんだ！

**玉藻前：**あたしだよ！

**桃太郎：**おっと、あ、すみませんでした、犬さん、どうして人類の言葉ができますか。

**（因为错将玉藻前的声音当成了自己一直听到的声音，桃太郎对于刚才的大吼表示抱歉）**

**玉藻前：**犬じゃない。狐ですよ。あたしが神なんだよ！あたしの名前、聞いていなかったの？

**桃太郎：**へえ神様？神という生き物が本当にいるのかな？

**玉藻前：**もちろん、あたしが超一流の神様だ〜

**（可以播放肚子饿叫的背景音乐，同时玉藻前做极力掩盖自己肚子响的尴尬状）**

**桃太郎：**は？それでも、あなたはただ自演の神なんでしょう！神というなら、あなたの神の力を見せてくれるのはどうだ？

**玉藻前：**だめだ、今お腹がすいてる、神の力が出せない。

**桃太郎：**じゃ、どうやって俺に信じさせるのか？あなたは神様のこと？

**ナレーションB：**そういっても、桃太郎も彼女のことを認めている、彼女を助けてあげたかった。

**桃太郎：**あなたは何を言っているのかわからないけど,なんかすごい感じです。僕は桃太郎です。

**（桃太郎此时伸出了手想要打招呼）**

**桃太郎：**え。。ちょっと、一体何か起こってしまった、俺が、彼女のことを認めたくなかった。

**（桃太郎突然将手伸出伸入，来回犹豫不决的样子，旁白B在其身后做操控状）**

**玉藻前：**うん？？？まあいいか、桃太郎、私の腹が減った、一つ黍団子をください！

**（玉藻前先做奇怪状，后爽朗地问桃太郎要丸子）**

**桃太郎：**はい、どうぞ。僕は妖怪と戦いにいく、村人をたすけるのとして、僕と一緒に来てくれない？

**（桃太郎说完话咬了一口团子）**

**玉藻前：**じゃあ、黍団子をもらったから、私も行く。一緒に鬼を退治しましょう。あたしは君のことを守れるよ。あたしの力を無視すれば、チームの全力が大損をするわ！

**（玉藻前接过了团子一边吃一边说道）**

**桃太郎：**あ、最高！おばあさん作る黍団子を食べて、やる気満々だ!

**（桃太郎吃完了团子）**

**玉藻前：**ふん、妖怪を倒す、めっちゃ簡単なことじゃない！

**（玉藻前吃完了最后的一口团子）**

**大和：**おい、その二人、俺も行く！

**桃太郎：**おっと、猿さん、どうして人類の言葉ができますか。

**大和：**ああ。僕は猿じゃあないですよ、神ですよ。私がみんなさんに「ヤマトダケル」と呼ばれます。

**桃太郎：**どういうことだ、自分で神を呼ぶのやつ、もう一回？

**ナレーションB：**そういっても、桃太郎も彼のことを認めている。

**（一边说一边在背后做操控状）**

**桃太郎：**え、さっき、俺が何か考えているのか。。。。

**（桃太郎突然感到害怕，呆呆地站在原地，不一会儿一个踉跄反应了过来）**

**桃太郎：**おっと。ヤマトダケルさまか。僕は桃太郎と申します。こちらは玉藻前。

**玉藻前：**さっき我が飢餓を忍耐しきれなくなったの時に、桃太郎は我に黍団子を送ってくれた、そして我があの子を守りながら、一緒に鬼の島へ鬼の退治をするのになった。

**大和：**熱心な桃太郎よ、我にも黍団子一本をくださいますか？そうしたら、我もいくぞ！

**桃太郎：**はい、どうぞ。

**大和：**なんと優しい人間だ、我は貴様たちと一緒に悪を打つするべき！

**（要来了一口团子以后说了这句话，可以嘴里真的吃什么东西）**

**[ 第六回 ]**

**ナレーションB -- 陈霖杰**

**桃太郎 -- 廖昀昊**

**玉藻前 -- 樊小楚**

**大和 -- 马乐**

**八咫烏 -- 戴小姐**

**桃太郎：**へえ！どしてその烏がみっつ爪を持っているのか！もしかして、そちらも神様なんですか。

**八咫烏：**人間？そして二つ雑魚神？ああ、あなたの直感は、非常に正確です、少年。そう、私は首上に三つ神器の一つ、八咫鏡が持ってる八咫烏ではあります。太阳神天照に派遣されたんで、現世に来ました。大御命の使者であり、太陽の象徴であり。

**桃太郎：**いいえいいえいいえ、変すぎなんでしょう、さっきからずっと変なやつとあうこと、神様が固執**（こしつ）**して僕のことを助けてあげるように。

**ナレーションB：**そういっても

**（此处旁白说到一半做控制状，眼神要凶狠，桃太郎则突然一惊，随后看向自己的双手后惊愕着缓缓放下）**

**桃太郎：**わあ、すごいそうです！じゃ、あなたの使命は？

**八咫烏：**我は亡霊をさいどするの使者**（ししゃ）**だ、人々は死んだら仏**（ほとけ）**になること、でもそれは普通な人間のしぬことだけだ、仏になれないやつが人間に回ってるの怨霊**（おんりょう）**になる、そういう怨霊をさいどするのはわれの仕事だ、そういっても、けっきょくあんなやつを永遠**（えいえん）**になくなるのにするわけだ。うははははは！！！われこそ、生と死の限界**（げんかい）**の管理者、いつも死ぬことと生きてる。このように死ぬことはさえあれば、われが消えない。

**桃太郎：**いいや、意味わかるだけど、不思議すぎ。。。。。あ。。。すごい！私たちはちょうど村人をいじめてるの妖怪と戦っていくの、もしあなたは私たちに力をかしてくれるなら、きっと勝利にするよ！

**（桃太郎开口到说道不可思议的时间段内，旁白做极力控制状，桃太郎需要演技，展现出明显从个人意识的涌现，到意识逐渐模糊不知道自己刚才在说什么，到一种绝望感后恢复正常）**

**八咫烏：**生と死をコントロールしてる神としての私にあんな願いをだすこと、不思議な、人間！今私が少し指を動けば、貴様たち三人も瞬間に亡くなることをできる、次の発言を注意するぞ。

**（三人停顿片刻）**

**桃太郎：**では、失れいたしました。

**八咫烏：**ま。。まって、そんな早く諦めること、やはり人間だ！

**（三人转身就走）**

**八咫烏：**な。。。おい、まって、おい、待ってていってるじゃないか！

**（三人停下脚步，没有转身）**

**八咫烏：**にん。。人間、力を貸すことはいいんけれども、一つ要求がある！おれに！！！！

**（八咫烏拖长音说に，三人转身后摆出战斗架势）**

**桃太郎：**私たちに何をさせるつもりだ！？

**（桃太郎大吼）**

**八咫烏：**俺に食品をくれ、千年の中に何もたべていなかったんだ！神としていい待遇**（たいぐう）**を持つと言われたのに！

**（八咫烏突然跪下，带着哭腔说话，含糊不清但吐字清晰）**

**桃太郎：**はいはい、こっちが黍団子がありますよ、体力としてあげる！

**（桃太郎俯身过去和八咫烏说）**

**八咫烏：**うわ、うまい、なにこれ、人間の食ものか、うわ！！

**（一边吃一边说话）**

**八咫烏：**ああ、満腹にしといたら、すごくやれますね！

**桃太郎：**じゃ、つづいて行こうか！

**玉藻前&大和&八咫烏：**よい！

**ナレーションB：**八咫烏も、桃太郎の仲間になりました。

**[ 第七回 ]**

**ナレーションB -- 陈霖杰**

**鬼B -- 张昀能**

**鬼A -- 杨雅逸**

**桃太郎 -- 廖昀昊**

**玉藻前 -- 樊小楚**

**大和 -- 马乐**

**八咫烏 -- 戴小姐**

**ナレーションB：**皆さんは、船からおりて、岩の上を歩いて行きました。おにの城の大きな鉄の門の前まで来ました。

**桃太郎：**進め！勝利を取れ！！

**皆：**はっ！

**ナレーションB：**おしろの中ではおにたちがお酒をのんだり、ごちそうを食べたり、歌を歌ったり、おどりをおどったり、おおさわぎをしていました。その時、桃太郎は城の中に飛び込みました。

**（扮演小鬼的两人或多人惊慌失措，两个人交错着说一下两段话）**

**鬼A：**わ、助けてくれ、鬼がいる！

**（这句话语速要快，可以囫囵吞枣）**

**鬼B：**な。。何、貴様！

**（这句话语速要快，可以囫囵吞枣）**

**鬼A：**貴様たちは何者なんだ！

**（这句话语速要快，可以囫囵吞枣）**

**鬼B：**てめえ、びっくりされた！

**（这句话语速要快，可以囫囵吞枣）**

**鬼A：**どうして飛んでくるの、ドアがしまっていないのに！

**（这句话语速要快，可以囫囵吞枣）**

**八咫烏：**ち、ただ人間に回ってる普通怨霊と高等怨霊が、貴様たちを殺すことは毎日の食事をするような簡単！さっさと消えろ！

**（八咫烏说话要快要狠，桃太郎等八咫烏说完上来一把把它推开，被推的八咫烏像小鸟一样乖巧地附在桃太郎身后温顺状）**

**桃太郎：**僕は桃太郎だ。日本からの桃太郎だ。僕なら、空手で牛を殺すこともできる、そういう程度**（ていど）**の力のことがわかる？お前ら、覚悟しろう。

**鬼A：**ふざけんな！

**鬼B：**あんな悪魔様なものから消えろて言われたら、人間の言葉なんで恐れるのをするわけないだろう！

**（大和推卡头阵的桃太郎漫步向前边说道）**

**大和：**さって、宴会が始まりだ。鬼たちよ、俺の剣道を拝見しながら、死んでくれ！はっ！大和剣！

**（大和还没说完的时候玉藻前就开始说，大和说完摆好架势看着玉藻前等待玉藻前说完）**

**玉藻前：**軒轅陵墓。冥府より尽きることなく。帰し帰すは黄泉の国。まろびくだりて伊賦夜坂**(いふやざか)**。八雷神、出でませ！

**（玉藻前说完摆好架势看着八咫烏，大和也看向八咫烏，八咫烏站在原地一愣说道）**

**八咫烏：**俺なら攻撃の発動は瞬発**（しゅんぱつ）**だから、いうべきことがない！音バースト！

**鬼：**ああああああああああああ、神三人の攻撃が、ごめんなさい、村人から奪った宝物は全て返しますから。もう悪い事やしないんだ。

**[ 第八回 ]**

**ナレーションB -- 陈霖杰**

**鬼リーダ -- 张昀能**

**鬼A -- 杨雅逸**

**桃太郎 -- 廖昀昊**

**玉藻前 -- 樊小楚**

**大和 -- 马乐**

**八咫烏 -- 戴小姐**

**ナレーションB：**この時、鬼リーダがしろの外から帰ってきた。お城の中の惨状**（さんじょう）**を見ていながら、大きい声で叫ぶこと。

**（旁白边说，鬼リーダ边从教室门口踱步而入，看到眼前的小鬼惨败情境先是惊愕后转为愤怒，说道）**

**鬼リーダ：**ちくしょう、お前ら、なぜ動揺されたんだ。進め！進め！動揺するな！

**（鬼怪两人或多人放下武器落荒而逃，蹒跚走向鬼リーダ所在处，中间扶扶讲台扶扶桌椅，但是离鬼リーダ距离还有一些）**

**鬼リーダ：**お前ら！戦え！動揺するな！敵はただ４人です。戦え！戦え！！撤退するな！！撤退するな！

**（小鬼蹒跚过来抱住了鬼リーダ的双臂，鬼リーダ被抱住左右两臂后立马将双臂前甩，两个小鬼顺势摔坐在地上，鬼リーダ此时穷凶极恶地说道）**

**鬼リーダ：**ち、お前ら全ては雑魚だ、使えるやつ一つもない。ちくしょう。ならば、お前と一緒に殲滅**（せんめつ）**してあげましょう。覚悟しろ！

**（鬼リーダ边说边开始了手上的动作，十分中二）**

**鬼リーダ：**鬼クラス絶技**（ぜつぎ）**、闇振動波**（やみしんどうは）**、これこそ鬼間**（おにげん）**の中にただ一人しかできないぜつぎだ、命中**（めいちゅう）**されれば、生き物や死ぬ物やの精気**（せいき）**でさえあれば、全部俺に奪われてくる、死ぬ時で全身究極な痛さを受けらなければならないんだ、さあ、ごゆっくり試食**（ししょく）**してください。

**（鬼リーダ越往后说，小鬼越是表现得恐惧，此时八咫烏推开桃太郎说道）**

**八咫烏：**おい、貴様、この芸俺もできるよ、あんたは一人じゃないんだよ！

**ナレーションB：**瞬間に、一本言葉で描写**（びょうしゃ）**できない漆黒**（しっこく）**なエネルギー振動波が鬼たちに衝撃**（しょうげき）**していく、須臾**（しゅゆ）**の中に鬼たちがさしもないでなくなった、空間に残っているのがただあるようでもありないようでもある鬼たちの凄惨**（せいさん）**的な叫び声。

**（旁白边说小鬼边惨叫，小鬼一边惨叫一边蹒跚爬行到教室外，在教室外继续声声惨叫仿佛旁白最后说的凄惨叫声若有若无地回荡在死寂的空中）**

**鬼リーダ：**ち、雑魚は雑魚だった、利用の価値**（かち）**ではなかった、お前らも同じだ。チームリーダ様なやつはあなたでしょう、桃太郎。じゃ、君の血から飲むよ。

**（鬼リーダ和桃太郎开始打，三个神在一旁搬个板凳或席地坐下，坐观并时不时点评，点评自由发挥）**

**（这边打斗过程中桃太郎处于下风，一直吃鬼リーダ的拳击，最后桃太郎被击中腹部的同时一拳将鬼リーダ打了个踉跄向后退了几步，随后）**

**鬼リーダ：**ち、少し神の力を感じてるね、やはり貴様は普通な人間ではない、じゃこれはどうだ？！闇、振動波！！！

**（鬼リーダ一个挥手，桃太郎瞬间就如同开篇信長被击中肩部的那样左肩向后一冲，示意被击中了左胸，然后先是跪地随后正面着地倒下，从被击中开始，一直双眼无神，此时刚才饰演小鬼的旁白从教室外光明正大地走入，但是没有一个角色注意到他）**

**（倒下的时候后面坐着的三个神突然起立，向后退了几步，神情紧张无比）**

**鬼リーダ：**生き物は生き物だ、殺されるなら死ぬ！お前もう同じだ、だ。。。。え？

**（鬼リーダ说道第一个同じだ的时候桃太郎开始慢慢爬起，爬起的全过程中，刚才走入的旁白严肃地对桃太郎做控制状，桃太郎也慢慢起身，如同行尸走肉一般四肢疲软，桃太郎边晃动上肢边垂丧着头说道）**

**桃太郎：**あ。。。ここはどこだ、そうだ、俺は弓矢で殺されたんだ、本能寺、え、ここはどこだ。。

**（桃太郎说话的时候旁白先是很严肃很高傲，随后见状立马神情进一步严肃，并在桃太郎快要说完的时候就开口了）**

**ナレーションB：**しかし、桃太郎の武芸程度は高すぎ、鬼リーダはすぐたおされたんだ。

**（说完桃太郎突然恢复了生气，但是意识还是从迷糊变得清醒，所谓恢复生气就是抬起头，手也不晃了，并且看向自己的双手）**

**桃太郎：**え、俺はもう生きている？闇振動波のに、でも、体が変じゃないなら、覚悟してくれ！

**（一直惊愕地看着桃太郎的三人再次坐下开始调侃，要说一些刚才很危险，之类的话语）**

**（桃太郎突然一个箭步冲到鬼リーダ面前，前弓步姿势降低自身重心的情况下，先是一拳击中鬼リーダ的腹部，随后立马一个上推掌打中了鬼リーダ的下巴，当然都是放慢的动作但是要演得逼真）**

**（鬼リーダ顺势向后倒下，扶着第一排的桌椅爬起一点点，然后先是大笑随后说道）**

**鬼リーダ：**お前な、本堂に何もわからないんですね、この世界のことついて、ね、君がこの世界、何が変な様子をかんじているんかい？

**桃太郎：**な。。どうして君がわかる、貴様いったい何者だ、貴様一体何がわかっているんだ？さっさといえ！

**（旁白来到了鬼リーダ身后扭断了鬼リーダ的脖子，说道）**

**ナレーションB：**しかし、その時、鬼リーダはもう、なくなってしまった。

**桃太郎：**え、死んだ、俺の攻撃なら死ぬことには。。。あ。。

**（桃太郎开始说第一个字的时候旁白就俯视着鬼リーダ边举起右手对远处的桃太郎做掐脖子状，并在缓缓看向桃太郎的时候表情凶恶，伴随着旁白的转头，桃太郎也是越说越慢，在桃太郎说完ことには的时候，旁白就开始插话，桃太郎则看向自己的双手继续恩恩啊啊地吞吐些什么）**

**ナレーションB：**その後、桃太郎たちはすぐ村人の通ろに帰りました。

**（上面这句话旁白说得不紧不慢，要十分稳重而且自信满满，说完桃太郎立马转身面向三个还坐着的神）**

**桃太郎：**じゃ、討伐**（とうばつ）**が終了、帰ろうか！

**（四人退场，留下旁白，饰演村人的从门外进入，旁白说完村人到位）**

**ナレーションB：**勝利を手に入れた桃太郎たちは、とても興奮**（こうふん）**にしていた。

**（桃太郎四人从教室门外进来）**

**[ 第九回 ]**

**ナレーションB -- 陈霖杰**

**ナレーションA -- 杨雅逸**

**村人 -- 张昀能**

**桃太郎 -- 廖昀昊**

**小鬼 -- 马乐**

**大和：**おい！おい！人間たちよ、食べ物をたくさん連れて！

**村人：**桃太郎様、あなたはわたくしたちの英雄なんだ！ももたろうさま！あなたのお掛けて、奪われてた財物が全て戻りました、わたくしたちはもう一度から居場所を建立**（こんりゅう）**することができるのになるんだよ。本堂にありがと！

**（村人激动地握住了桃太郎的手，桃太郎有些不好意思的同时，身后的三个神说道）**

**八咫烏：**ち

**玉藻前：**うん、普通な人間が私たちのことが見えないかな！

**大和：**じゃ、桃太郎はふつうな人間じゃないってですよね。

**（村人和三位神灵退场，留下桃太郎面对观众，做沉思状紧皱眉头说道）**

**桃太郎：**そういっても、あの鬼リーダも生きてる時の言葉はやはり。。。

**（说出这句话的同时，站在原先鬼リーダ死掉的地方的旁白B正要说话，从门外进来一个旁白A，大声说并对桃太郎做控制状，并且旁白B表现得非常气愤，旁白A边说小鬼边跑到讲台后面到达教室的另一端，等待旁白说道sprint的时候就开始冲刺冲向面向观众的桃太郎）**

**ナレーションA：**その時、みんなが注意していなかったところから、残られた小さい鬼一匹が桃太郎にスプリントしたんだ。

**小鬼：**にやあああああ！覚悟！

**（小鬼这边刺完就跑出教室了）**

**ナレーションA：**脇差**（わきざし）**が桃太郎の心臓に入った、血が不断的跳ねて出ていた、究極な痛さの後に、少しずつ、桃太郎が何を思い出した。

**（对于旁白B：旁白A说话开始前旁白B刚要出声，就被旁白A继续的说话打断了，旁白B气愤地转向旁白A的方向一动不动死死注目着旁白A）**

**（对于桃太郎：桃太郎单手扶着第一排的桌椅，单手捂住被捅的肾处，实际上因为伤到了肾，胰腺，肝，十二指肠，幽门和胃腔，所以要假装咳嗽咳血，边咳嗽，边无力地说道）**

**桃太郎：**こういう景色、こういう感じ、どこか、何時か、体験したんだ。あれ、記憶が模糊にして。。。あ、声が、注目されるの感じがもう一度。。。俺は誰だ、一体誰だ、そうだ、おれは戦場中だった、俺は敵に飛んできた弓矢で刺されたんだ、俺が、俺がもう死んだんだ。

**（桃太郎说完慢慢趴在了桌子上,场上只应留下两位旁白和桃太郎）**

**[ 第十回 ]**

**ナレーションB -- 陈霖杰**

**ナレーションA -- 杨雅逸**

**桃太郎 -- 廖昀昊**

**ナレーションB：**何がしているんだ！

**(B十分气愤)**

**ナレーションB：**どうしてこの結局**（けっきょく）**を壊して、彼を殺したの！私たちの信長さんはこれから覇業をもう一度建てられることじゃないのか！

**（旁白B说着的时候非常激动,很气愤）**

**ナレーションA：**そういっても、ちゃんと考えてくれるよ、こういう物语**（こじ）**は本堂にいいのか、実はあなたの心にもわかっているんでしょう、彼が桃太郎になったことからの物语は変なことになったんでしょう！信長は本能寺で死ぬことは彼の本体に会って、正しい結局なんでしょう？

**ナレーションB：**貴様は何がわかる！

**（桃太郎从桌子上慢慢苏醒）**

**桃太郎：**話すの声が、いつも人が喋っているの声が一体何なんだ！あんたたち、一体誰だ？え、ナレーション？？？

**（桃太郎看到了饰演旁白的人身上的旁白字样、愣了一会儿,随后转头看向观众）**

**桃太郎：**あ、あなたたち**（指观众）**も、どこから出た！さっきの小さい鬼はどこか？僕の仲間たちは？村人は？

**（桃太郎表现得很是震惊,并且来回看）**

**桃太郎：**どうしてナレーションがここにいる、死んだ後に出た演劇の幻想なのか？信長として死ぬ時はももを見てることだった、今回桃太郎としては演劇ですか？

**ナレーションB：**あなた、もしかしたら、わたくしたちのことが見えますか？

**(旁白B又是震惊又是激动)**

**桃太郎：**ええ、はっきり見てるんだよ、「ナレーション」という字が書いてる服が着るおかしい人が二人があって、喋っているのことが。

**(桃太郎趴在桌上有气无力地说到)**

**ナレーションA：**うん。。。貴様の仕業、時空操作**（じくうそうさ）**の中に彼の記憶がすっかり抹消**（まっしょう）**できなかったのことだ。

**（这句话是旁白A对B说的,旁白B刚要回话,被桃太郎打断了）**

**桃太郎：**あなたたちはさっきから何が言ってるんだ？**（站起，烦躁）**というか、ここは俺の幻想しかない、自分の幻想して出た人物と話すことは変なんだね！

**(桃太郎在这句话说完结尾处有叹气的趋势,说完后可以叹气,如果尴尬可以不叹气)**

**ナレーションA：**これは幻想じゃない！見てるナレーション二人、今まで聞いた声、すべては幻想じゃない！うん。。ここまでなら、全部教えてあげるよ。

**桃太郎：**幻想じゃないって、どうやって証明するの、方法じゃないでしょ！

**ナレーションA：**まずは、君は信長だ、本能寺の中に敵に弓矢で殺されたんだ、違いますか？

**桃太郎：**それは。。**（被A打断）**

**ナレーションA：**その後、大きいなももを見て、全ての記憶がなくして、桃太郎として今まで生きている、違いますか？

**桃太郎：**どうし僕のことが知ってる、でも、振り返って見れば、自分が本当に信長として生きていたのか、いきていなかったのか、良く分からないんだ。あれは真な痛さ、はっきり覚えている経歴**（けいれき）**だ、でも、こちの桃太郎としての経歴も。。。

**ナレーションA：**その二つ経歴はいずれも本物だった、君は信長として生きていて、敵に殺されたんで、そして、桃太郎として生きていた、これこそ君が歩いてきたの人生道でした。

**ナレーションB：**おい、Aさん、ここまでだ。

**桃太郎：**何よ、やはり俺の幻想ですね、人が第二回の人生をすることが、冗談しかないよ。

**ナレーションA：**いいえ、それは事実だ、わたくしたちは未来の人類**（じんるい）**、技術手段でこういう現象を作ったんだ。

**桃太郎：**ええ？

**ナレーションA：**遥遠**（ようえん）**な未来から、人類は人毎に一つ世界の操作権が持っている、娯楽**（ごらく）**として自分の意志であの中央宇宙**（ちゅうおううちゅう）**から分配**（ぶんぱい）**された世界を操作することができる。つまり、君は君自身として生きている時は生き物ではない、ただ私たち作った物语や演劇の中にコントロールされている人形だった。

**ナレーションB：**いいだろ！Aさん黙って！

**桃太郎：**な。。。人形って。

**ナレーションA：**そうだ、私たちとしては人形。でも、君はこの状態で、つまり、わたくしたちと喋っている時は自分の意志が持ってる、それは、しばらく作られたの世界と主**（おも）**世界のがぺいとして引き出すの現象だ。

**桃太郎：**でも桃太郎としては人形だって、信長としても人形だって。。。

**ナレーションA：**じゃ、次は理由。どうして私たちはあなたの世界をつくったんでしょう。

**ナレーションA：**それは、私たちが歴史でいた本物の信長のことが心から好きなんだから。

**ナレーションB：**A、ここまで教えたら、俺の物语が。。。

**ナレーションA：**だから、信長の世界時空もう一度演劇としてしたい、それは君が生まれたの理由だった。

**桃太郎：**僕は完全に、生まれた頃から。。。。

**ナレーションA：**でもその途中で、つまり、君が敵に弓矢で刺されたときから、わたしの友生命体Ｂが、あんな結局がほしくなくなった。彼が桃太郎の世界をつくって、第二回の命を君にあげた。でも、Bが「信長の記憶が全部抹消することやしない」って言ってた、それは彼が「人の記憶がすべてなったなら、違い人になる」と思っていたから、君が信長として生きるときの筋肉記憶や価値観や世界観や人生観などの重要な記憶が全部保留**（ほりゅう）**したんだ。これこそ、君のこと、君の居場所のことの真実だ。

**桃太郎：**しんじられない。。。。

**ナレーションB：**Aさん、黙ってって言ってるじゃないか！

**ナレーションA：**君のいた二つ世界は全て創造物、君はただ人形だ！

**（B感到十分不甘,说不出话来,空气突然安静）**

**桃太郎：（动摇）**いいえ、違う、俺が生きている意志だ、僕は信長だ、僕は桃太郎だ、僕は本物だ。

**ナレーションA：**だから、わたくしたちとして。。。。

**（A刚要冷冷地反驳）**

**ナレーションB：**僕はそう信じてた、あなたは本物だ。歴史を勉強してた時はいつも君のことが好きだった、尊敬していた、私としては英雄だった。だから、世界操作権を持ってきたときは信長の世界を作ろうと思ってた。そして、作ったの君が本物として待遇したかった。だから、弓矢で殺されるのことが嫌いだ。桃太郎としての君はすごい力をもって、色々な仲間ができて、熱心して、村人をたくさんたすげて、きっと最後の最後に、新しい、すごい国を作られるって思っていた。なぜなら、あなたは信長だ！その信長だ！敵に弓矢で殺されるなんて、信長はこんな簡単に死ぬ人じゃない。わたしはそれを認めない。だから、第二回の命をあげたんだ。君の王の姿を見るために。

**（信長由吃惊到坦然）**

**桃太郎：**そうか。

**ナレーションA：**あなたは本当にそう思っているんですか？それはあなたの本心ですか？ふざけるな！彼が本物？いつか彼は自分自身で選択をしたの？ないよね！全てあなたの操作だったよね！すごい力？それはあなたの制定なんでしょう！

**ナレーションB：**あ！そうだ、わたしたちはあの世界の神なんですから、悲傷だ、仕方がないで、ただの見ることはできない、操作は必要だ。でも、本堂に彼の未来が見たい、王の姿がみたいんですから、彼に第二回の命をあげたんだ、彼に英雄になる機会をあげたんだ。

**桃太郎：**ちょっと待って、神か？人々の運命を決めるの神なんか？それは最高の体験なんでしょう！ああ、そうだ、私もそう思うんだ、弓矢で殺された結局は最低だった、も一度生きるの機会がほしい。でもね、人が殺されたなら、死ぬ、死ぬことがさえあれば、命の価値がある、そうじゃない？一度一度の振り返って、直して、そして、手に入れたの勝利は本当の勝利なんですか？それはただ経験、「生きるのこと」といわれられない。命はこと毎に一回しか体験できないのこと、それこそ命だ！

**ナレーションB：**でもあなた！もう一度命を手に入れたくないか？もう一度君の覇業を実現**（じつげん）**にするの機会がほしたくないか？わたしたちの物语にはこういうことが全部できるんだ、これから続けて行けば、きっと！

**桃太郎：**これでいい。人生にはいつもたくさん願いがあるんだけれども、かなえない夢想**（むそう）**こそ、いつも素晴らしい夢想なんでしょう。ま、いいんだ、私はこれから死ぬべきだ。

**（桃太郎大笑,最后一句可以说得俏皮）**

**ナレーションA：**なるほど、こういう覚悟の次第、君が人々に英雄で呼ばれてたんだろう。なら、さ、そろそろいこうか！

**ナレーションB：**なるほど、それは英雄の本心か、命の本当の価値か、私、確かに悪いことをしたんだ。でも、現在私がわかりました、大好きな信長、さようなら！

**ナレーションA：**準備はいい？

**桃太郎：**いつでもOkay。

**ナレーションA：**あんな微光**（びこう）**が少しずつおおきくなりました、桃太郎は過去にいくんだ。

**(A一边说这句话,小鬼一边进门,躲在讲台后,等A说完,开始重向桃太郎)**

**[ 第十一回 ]**

**ナレーションA -- 杨雅逸**

**桃太郎 -- 廖昀昊**

**村人 -- 张昀能**

**玉藻前 -- 樊小楚**

**大和 -- 马乐**

**八咫烏 -- 戴小姐**

**ナレーションA：**鬼のひしひし握ってる脇差**（わきざし）**が空気を引き裂いてる、銃の中から音速で飛んで出たの銃弾**（じゅうだん）**の様な、ぶかぶかに桃太郎の肉体に埋めてた、血が裂かれた皮膚**（ひふ）**から跳ねて出ていた、空間にまき散らすルビーのような。**(鬼紧握着的匕首撕裂了空气,如同音速出膛的子弹一般,深深地埋入了桃太郎的躯壳内,血液从被撕开的肌肤的裂口处澎涌而出,如同在空中飞洒的红宝石般晶莹剔透)**

**桃太郎：**やはり痛い、しかし、それでいい、でも私の世界が創造物なんて、本堂に不思議だな。

**（信長缓缓倒下，带着微笑,门外进来以下牵扯到的所有人）**

**玉藻前：**桃太郎様！

**（玉藻前冲上前，推开小鬼，并施展了某种攻击法术）**

**小鬼：**うああああああああ！

**（小鬼，卒。众人上前，都呼唤着桃太郎的名字，把桃太郎抬到桌子上）**

**村人：**桃太郎様、あなたは、私たちの英雄なんだ、ありがとう。。。。

**八咫烏：**しっかりしろ！桃太郎さま！残っている団子が俺にくれるか、おい、死ぬな、答えろ！

**大和：**桃太郎様、僕はもいい食べ物をたくさん食べだい、しっかりしろ！桃太郎さま！

**桃太郎：（有气无力）**ま、この结局、悪くない。いい演劇だ。**（咽气）**